

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	建物の構造として、グループホームが三階と四階になっており、利用者単独での階段の転倒転落の危険がある為、ユニットの玄関は終日施錠している。	一日のうち数時間、玄関を開放する。	内部研修で地域とのかかわりについて勉強する。ミーティングの中で玄関の開放が可能である時間があるか検討を行う。玄関開放時間中の見守り体制について検討する。管理者・主任で話し合う機会を設けて検討する。	6ヶ月
2	37	自衛消防避難訓練を年2回行っており、消防署の協力を得ているが、地域住民への参加呼びかけは行われていない。	自衛消防避難訓練実施にむけた地域との協力体制の構築を行う。	避難計画作成時、地域住民に参加・協力頂くためにはどうすればよいか検討する。施設での避難訓練について、地域の区長や民生児童委員等に相談をする。職員の中に地域の消防団の加入者がおり、地域と協力をしている。運営推進会議開催時、参加者に向けて実施計画の報告や協力に向けた案内を行う。併設特別養護老人ホームがH31.4.1より移転した為、自衛消防避難訓練の開催方法を検討していく。	6ヶ月
3	37	地震を想定した避難訓練を行っていない。	地震を想定した災害対策の準備(備品、マニュアル等)をする。	地震発生時の対応マニュアルの作成をする。地震等を想定した食料品の備蓄を検討する。防災用品(ラジオや懐中電灯など)の購入をする。	6ヶ月
4					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。